

令和5年度「山城地方学校力向上トライアル校」

「学校力」を高める取組を計画的・組織的にすすめる学校を支援します

「力のある学校」の育成

具体的な数値目標の設定

- 例1: ICTの効果的な活用により、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を進める。
例2: 1授業に活きる家庭学習を推進し、学習時間30分未満の生徒の割合を10%以下にする。

目標や年間計画の策定で

分析の段階から
方法等についても助言

学びのパスポートや全国学調、
独自のアンケート等を用いた学校の
実態の分析

目標・計画の設定

各種の取組
実施

校内研修会や授業研
究会づくりから助言

実施に対する
検証・評価

研究授業の指導案作成
の段階から助言
先行授業での助言を受け
て研究授業を実施

検証・評価の仕方
も含めて助言

状況の分析

改善策の
取組

次年度の取組につい
ての提案や助言

自校の課題

学校・教育委員会・教育局との連携・協働・創造

令和5年度学校力向上トライアル校指定校

- ◆宇治市立大開小学校 ◆宇治市立木幡小学校 ◆八幡市立橋本小学校 ◆井手町立井手小学校
- ◆井手町立多賀小学校 ◆木津川市立棚倉小学校 ◆相楽東部広域連合立笠置小学校
- ◆相楽東部広域連合立和東小学校 ◆相楽東部広域連合立南山城小学校
- ◆城陽市立南城陽中学校 ◆八幡市立男山第二中学校 ◆八幡市立男山東中学校
- ◆京田辺市立田辺中学校 ◆井手町立泉ヶ丘中学校